

Smart Data Platform サービス利用規約 別冊（ネットワーク）【現改比較表】 2022年7月12日現在

～2022年7月11日

2022年7月12日～

Smart Data Platformサービス利用規約 別冊（ネットワーク）

別紙5 リモートアクセス提供条件等

2 各メニュー等の提供条件等

(1) Flexible Remote Access

A 提供条件等

(B) リモートアクセス機能に係るもの

b 当社は、Flexible Remote Accessをベストエフォート（通信速度を確保しないことをいいます。）として提供します。

ただし、契約者が付加機能（帯域確保機能等に係るものに限ります。）を利用する場合を除きます。

d 契約者がFlexible Remote Accessを海外で利用する必要が生じたときは、共通編第32条（契約者の義務）第7項から第10項までに従い必要な措置を行うものとします。

Smart Data Platformサービス利用規約 別冊（ネットワーク）

別紙5 リモートアクセス提供条件等

2 各メニュー等の提供条件等

(1) Flexible Remote Access

A 提供条件等

(B) リモートアクセス機能に係るもの

b 当社は、Flexible Remote Accessをベストエフォート（通信速度を確保しないことをいいます。）として提供します。

ただし、当社が付加機能（帯域確保機能等に係るものに限ります。）を提供する場合を除きます。

d Flexible Remote Accessを海外で利用する必要が生じたときは、契約者は、共通編第32条（契約者の義務）第7項から第10項までに従い必要な措置を行うものとします。

(F) DNS機能に係るもの

a 当社は、Flexible Remote AccessにおいてDNS機能（当社のドメイン名管理装置を用いてリゾルバ機能（ドメイン名を元にIPアドレスの情報の検索を行う又はIPアドレスからドメイン名の情報の検索を行う等の、ドメイン名に係る名前解決を行うものをいいます。）を提供するものをいいます。以下(F)において同じとします。）を提供します。

Smart Data Platform サービス利用規約 別冊（ネットワーク）【現改比較表】 2022年7月12日現在

～2022年7月11日

2022年7月12日～

(F) 情報の取得に係るもの

b 当社が提供するDNS機能には、次の種類があります。

(a) C&Cサーバ等との通信の遮断等を行うもの

DNS機能を利用した通信を行う者が当社に対してインターネット上のサーバに対するアクセス要求をした際、マルウェア（コンピュータウイルス、ワーム又はスパイウェア等の「悪意のあるソフトウェア」の総称をいいます。）に感染すること等により、その通信利用者がC&Cサーバ（コマンド&コントロールサーバの略であり、外部から侵入して乗っ取ったコンピュータを多数利用したサイバー攻撃において、コンピュータ群に指令を送って制御するサーバコンピュータのことをいいます。）等とアクセスしようとする場合であって、そのアクセスを遮断するため、その通信利用者のアクセス要求に係る名前解決要求に係るドメイン情報等について、機械的・自動的に検知し、当社が指定するアドレスリストとの間の照会を行い、当該リストにあるドメイン情報等と一致するときは、当該名前解決要求に係る通信を遮断するもの（この場合において、当社は、当該通信の遮断につき、注意喚起を行うことなく直ちに実施するものとしします。）

(b) C&Cサーバ等との通信の遮断等を行わないもの

他の条件を同一としたまま、(a)に規定する当社が行う検知及び通信の遮断等を行わないようにするもの

c 当社が提供するDNS機能（C&Cサーバ等との通信の遮断等を行うものに限ります。以下cにおいて同じとします。）を利用する場合は、契約者は、次の事項に従うものとしします。

(a) 契約者は、DNS機能に係る当社が行う検知及び通信の遮断に係る内容及び目的等につき、あらかじめ包括的に同意するものとしします。

(b) DNS機能に係る当社が行う検知及び通信の遮断等により、DNS機能を利用した通信を行う者のインターネット通信の利用に何らかの不利益が生ずる場合があることについて、契約者はあらかじめ同意するものとしします。

(c) 当社は、DNS機能に係る当社が行う検知及び通信の遮断の完全性を保証するものではなく、この検知及び通信の遮断に伴い発生する損害については、当社の故意又は重大な過失による場合を除き、責任を負いません。

(G) 情報の取得に係るもの

Smart Data Platform サービス利用規約 別冊（ネットワーク）【現改比較表】 2022年7月12日現在

～2022年7月11日

2022年7月12日～

- a 当社は、マルウェアの検知、ログ閲覧、ログレポート又はログ転送等のFlexible Remote Accessに係る機能を提供する目的において、Flexible Remote Access利用者の通信に係るヘッダー情報又はデータ情報を取得するものとします。

- a 当社は、マルウェアの検知、ログ閲覧、ログレポート又はログ転送等のFlexible Remote Accessに係る機能を提供する目的において、Flexible Remote Accessの利用者の通信に係るヘッダー情報又はデータ情報を取得するものとします。

(G) 付加機能

- a 帯域確保機能等に係るもの

付加機能	内容
帯域確保機能	<p><u>契約者が</u>Flexible Remote Accessを利用してインターネット又はその他のネットワーク等との間の通信を行う場合における、次に掲げるFlexible Remote Accessの提供区間に限り、その通信速度の帯域を確保する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットゲートウェイ装置とインターネット接続点（Flexible Remote Accessへの接続に係るものに限ります。）との間の区間 ・Flexible InterConnectゲートウェイ装置とFlexible InterConnect接続点との間の区間
帯域確保（インターネットオプション）機能	<p><u>契約者が</u>Flexible Remote Accessを利用してインターネットとの間の通信を行う場合における、次に掲げるFlexible Remote Accessの提供区間に限り、その通信速度の帯域を確保する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットゲートウェイ装置とインターネット接続点（インターネットへの接続に係るものに限ります。）との間の区間
備考	<p>1 当社は、帯域確保（インターネットオプション）機能について、帯域確保機能を利用する契約者に限り提供します。</p>

- b エリア冗長機能に係るもの

(H) 付加機能

- a 帯域確保機能等に係るもの

付加機能	内容
帯域確保機能	<p>Flexible Remote Accessを利用してインターネット又はその他のネットワーク等との間の通信を行う場合における、次に掲げるFlexible Remote Accessの提供区間に限り、その通信速度の帯域を確保する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>契約者に係る</u>、インターネットゲートウェイ装置とインターネット接続点（Flexible Remote Accessへの接続に係るものに限ります。）との間の区間 ・<u>契約者に係る</u>、Flexible InterConnectゲートウェイ装置とFlexible InterConnect接続点との間の区間
帯域確保（インターネットオプション）機能	<p>Flexible Remote Accessを利用してインターネットとの間の通信を行う場合における、次に掲げるFlexible Remote Accessの提供区間に限り、その通信速度の帯域を確保する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>契約者に係る</u>、インターネットゲートウェイ装置とインターネット接続点（インターネットへの接続に係るものに限ります。）との間の区間
備考	<p>1 当社は、帯域確保（インターネットオプション）機能について、帯域確保機能を提供する契約者に限り提供します。</p>

- b エリア冗長機能に係るもの

Smart Data Platform サービス利用規約 別冊（ネットワーク）【現改比較表】 2022年7月12日現在

～2022年7月11日

2022年7月12日～

(b) 契約者は、エリア冗長機能の申込みにあたり、各エリアにおいてそれぞれ Flexible InterConnectを申込み必要があります。

(b) 契約者は、エリア冗長機能の申込みにあたり、各エリアにおいてそれぞれこの別冊の別紙1に定めるFlexible InterConnectメニューを申込み必要があります。